

# 非文字資料研究

The Study of Nonwritten Cultural Materials

News Letter **2007.9** No.17 CONTENTS



## Interview 1

5班 実験展示班代表者 中村先生に聞く

実験展示班の企て ..... 3  
「あるく 身体の記憶」について

Talking about the Autumn Exhibitions; Its Theme, "Walking"  
中村 ひろ子 NAKAMURA Hiroko

## Interview 2

6班 理論総括班代表者 的場先生に聞く

プロジェクトの総括にむけて ..... 9

A Summary of Our 5-year-project  
的場 昭弘 MATOBA Akihiro

## Interview 3

1班 『日本近世・近代生活絵引』の編纂班代表者 田島先生に聞く

絵引作業の舞台裏 ..... 15

Some Additions to My Report in the Last Issue  
田島 佳也 TAJIMA Yoshiya

研究エッセイ

ESSAY

都市景観「いにしえのソウル」の復元 ..... 18

The Restoration of Seoul's Landscape  
富井 正憲 TOMII Masanori

研究エッセイ

ESSAY

文久2年の「はしか絵」 ..... 20

Some Pictures, "Hashika-e" from 1862 as Historical Materials  
富澤 達三 TOMIZAWA Tatsuzo

コラム Column ..... 22

鳥取県において民具調査を始めて  
櫻村 賢二 KASHIMURA Kenji

コラム Column ..... 23

「家族」と「故郷」  
呉 毓華 WU Yuhua

2006年度外部評価と対応策 ..... 24

An Auditors Report of Our Project and Our Response to It  
委員の評価（要旨）  
外部評価に対する対応策

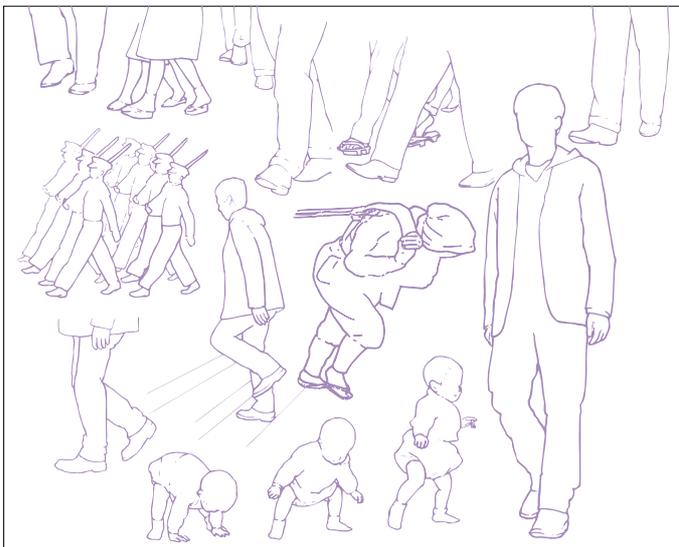
主な研究活動 ..... 28

受贈資料一覧 ..... 29

彙報 ..... 31

Information ..... 32

表紙説明



今回の表紙は、巻頭インタビューの秋の展示テーマにあるように「あるく」。友人の猿まわしは、いい芸猿を育てる第一歩として、まずきれいな姿勢での「直立二足歩行」を調教すること、と話していました。かつて私が所属していた在野の研究所の機関誌は「あるく みる きく」というタイトルでした。この「あるく」とは、太陽のもととび出し自分の知らない世界にぶつかってみることを意味しています。動詞は普遍性の強い言葉ですから、逆に様々なイメージネーションを誘発します。11月の展示はどんな世界を見せてくれるのでしょうか。  
(香月 洋一郎)

